

あゆみ

J C H O
二本松病院

二本松市成田町1-553
TEL.0243-23-1231
FAX.0243-23-5086
http://nihonmatsu.jcho.go.jp
発行者:あゆみ編集委員会

「キビタン健康ネット」に参加します。

この度、二本松病院では「福島県医療福祉情報ネットワーク(愛称:キビタン健康ネット)」に加入することとなりました。

「キビタン健康ネット」は、複数の医療機関にまたがる患者様の診療記録や検査結果、X線画像のデータを共有して日々の診療に役立てるシステムで、現在、福島県をはじめ医師会や薬剤師会など関係する団体が協議会を設立して、地域の病院や開業医、調剤薬局や介護施設などでネットワークシステム構築の準備を進めています。

このシステムに加入すると、患者様の同意のもと他の医療機関で受けた検査の結果など診療情報を有効に活用して、より適切な診断・治療に役立てることができるようになります。その結果、無駄な投薬や検査を減らし、かかりつけ医と病院との分業や、紹介・逆紹介などに必要な医療情報の共有化も推進されます。

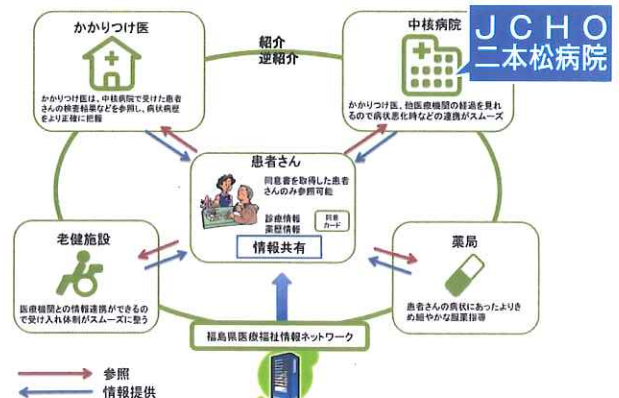
当院では平成28年度からの運用を目指して作業を進めておりますが、「福島県医療福祉情報ネットワーク」を利用することで地域医療の機能分担と医療連携・医療と介護の連携を一層推進し、患者様の利便性向上につなげていきたいと考えておりますので、関係各位のご理解ご協力をお願いいたします。



財務管理係長 羽根田 博幸

■患者様が「キビタン健康ネット」に参加(同意)すると

- ・当院を受診された際のX線画像、検査結果、治療内容、投薬などについて、かかりつけ医で説明を受けることができます。
- ・かかりつけ薬局で、よりきめ細やかな服薬指導や副作用の説明を受けることができます。



「手指衛生の取り組み」 について

去る平成28年1月27日、公益財団法人仁泉会北福島医療センターの感染認定看護師の飯沼範子先生をお迎えし、「手指衛生の取り組み」と題して講演会を開催しました。今回は感染の基本中の基本である手指衛生について再学習する目的でテーマを決めました。

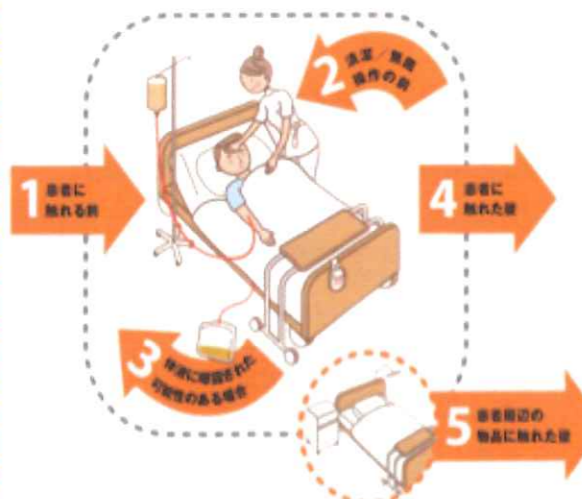
飯沼先生は院内感染対策ラウンドの時に、以前は「手袋を外した後は、手指衛生を行なっていますか？」と質問していたそうです。そうすると必ず「はい、やっています。」という答えが返ってきました。しかしここで、本当に出来ているのか？必要なタイミングは分かっているのか？と疑問を感じたそうです。そこでラウンドの内容に追加になったのが【手指衛生の5つのタイミングが言える】でした。手指衛生の5つのタイミングを口頭で質問し、5つ答えられれば○にするそうです。このことは、手指衛生の重要ポイントを覚え実践する事で、医療関連感染を低減できるという事に繋がると思いました。

講演の最後に質疑応答があり、「訪問リハビリの手指消毒」「擦式アルコール製剤の適正な1回使用量」「外来での手指衛生と手袋の使用方法」についての質問があり、現場の手指衛生への関心が高いと感じました。飯沼先生は最後のまとめのなかで「手指衛生は最も重要な感染対策であり、動機付けとなるきっかけを作ることが大切。しかし教育終了後、遵守率は時間の経過と共に低下してしまうので継続的な教育が重要になる。」とおっしゃっていました。私達ICT委員会では、来年度から手指衛生の教育をどのように行っていくかを検討しています。今後もICT委員会の活動にご協力をお願いします。

最後に、今回の講演会にご協力頂いた飯沼先生、講演に先立ちご協力頂いた皆さまにこの場をお借りして感謝申し上げます。

ICT委員会 斎藤 宏子

手指衛生の5つのタイミング



- 1 患者に触れる前**
手指を介して伝播する病原微生物から患者を守るため
- 2 清潔/無菌操作の前**
患者の体内に微生物が侵入することを防ぐため
- 3 体液に曝露された可能性のある場合**
患者の病原微生物から自分自身と医療環境を守るため
- 4 患者に触れた後**
患者の病原微生物から自分自身と医療環境を守るため
- 5 患者周辺の物品に触れた後**
患者の病原微生物から自分自身と医療環境を守るため



安全なMRI検査のために

MRI検査は、X線検査に比べると放射線の被曝が無く、体に害が無いと言われています。しかし強い磁場の中に入るため、MRI検査を受ける前に、安全に検査できるように検査前の問診が大切です。検査前問診は検査予約時と検査直前の二回行います。問診の内容は主に、金属、特に磁石にくっついてしまう磁性体の有無を確認していただく事です。体の中に金属があると、ひっぱられたり、火傷したりする危険があるため検査できない場合があります。お化粧品などもキラキラした色や黒い色など金属が含まれている物を使用している場合は、要注意です。予約検査で事前に準備ができる場合は、過剰な化粧品や、金属がある服装、コンタクトレンズ着用は避けて下さい。また、検査着を準備しておりますので、着替えられる場合は問題ありません。なお、心臓ペースメーカーを装着されている方は検査ができませんし、その他検査できない方や、検査時に外していただくものは以下のおりとなっております。

体の中にあると検査できない物

- ・心臓ペースメーカー
- ・除細動器、神経刺激装置
- ・金属製の心臓人工弁
- ・人工内耳
- ・脳動脈瘤クリップ 等

注意して検査を行う事柄

- ・刺青、タトゥー
- ・手術での金属クリップ、人工関節
- ・入れ歯を固定する埋め込み磁石
- ・心臓冠動脈ステント
- ・義眼(眼の中に鉄粉が入っている可能性がある)

検査時に取りはずす物・身につけられない物

- ・金属(メガネ、補聴器、時計、指輪、ネックレス、ヘアピン、ピアスなど)
- ・コンタクトレンズ(特にカラーコンタクトレンズ)
- ・化粧(特に黒い色、UVケア用品、ファンデーションで金属を使用している物)
- ・つけまつげ、つけ爪、マニキュア(金属を含む物)
- ・入れ歯 ・かつら ・湿布、カイロ、エレキバン、その他貼付剤
- ・金属がついた下着(ブラジャーなど)、遠赤外線下着
- ・磁気カード(電子マネー、銀行カード、クレジットカード) ※使用できなくなります
- ・その他素材のわからないもの



脳動脈瘤クリップは素材が分かれば検査可能であったり、心臓冠動脈ステントは、ステント手術を行った直後は検査できなかったりと、上記の例外もありますので、検査前の問診時にご相談ください。また、妊娠中、妊娠の疑いがある方(特に14週までの期間)は、検査を行えない事もあります。閉所恐怖症の方や音が苦手な方、その他不明な点がありましたら、検査前にご確認ください。MRI検査が安全に行えるよう今後も努力してまいります。ご協力よろしくお願いいたします。

無病息災を願い豆まきを行いました!

2月3日は節分です。当施設でも、利用者様、ご家族様の今年一年の無病息災を願い、豆まきを各階で盛大に行ないました。昼食前の時間、食堂に集まった利用者様に『豆まき』についてお話した後、各個人に鬼にまくための落花生と皆さんに食べていただくための甘納豆や栗まんじゅうをそれぞれお渡ししました。さっそく、年男年女の職員の掛け声に合わせて『福は内』と大きな声で豆をまきその後、職員が扮する赤鬼、青鬼の二匹が登場すると、それを待ち構えていたみなさんが一斉に鬼にめがけて『鬼〜外』『鬼〜外』と落花生を日頃のストレス発散?とばかりに元気よく投げつけて、見事鬼を退散させました。最後に今年一年の健康を願い、甘納豆と栗まんじゅうをほおぼりながら豆まきはお開きとなりました。

附属老人保健施設 ボランティア委員会 安田 忠浩



Let's try ヨーガ 「やさしいヨガ教室」

当院では職員の若々しい体(健康)の維持のため、日本ヨーガ学会教授飯田加寿子先生をお招きし、熱心な指導を受けて約一時間、仕事帰りにリフレッシュしています。吐く息、吸う息に集中し、背筋を伸ばしたり丸めたり、腕や足・つま先までリンパの流れが良くなるように意識してとても気持ちの良い時間でした。いつの日か出来るようになるであろう、柔らかい体を目指しポーズをとる姿がけなげです。

常に丸まった背中を感じていながらも、背筋や指先を伸ばしたり、体全体に行きわたる息づかいなどは、意識などしていなかったもので、静まり返った部屋の中での教室はとて有意義な時間でした。早速、明日からの仕事にも頑張っていけそうです。先生は「一日1分でもよいので瞑想しながら続けることが大切です。」とのお話でした。それにしても飯田先生の終始すてきな笑顔と透き通る声には私たちもすばらしいパワーをいただいています。

興味のある方は一度参加してみたいはかがですか。

総看護師長 佐藤 妙子



栄養管理室では、患者さんに行事食を提供しています。

今月は、正月・建国記念日・バレンタインデーに提供した食事を紹介します。

正月



赤飯・鮭の照り焼き・胡麻和え
ざくざく汁・ココアムース

建国
記念日



青しそご飯・彩り焼き・おひたし
わかめの酢の物・豆腐ケーキ

バレン
タインデー



ご飯・八宝菜・胡麻和え・えのきの
和え物・バレンタインムース

編集後記

立春を向かえ、窓際から入る日差しのぬくもりを感じながらもまだまだ天気予報では雪マークを見かけます。先日わが家の庭先に福寿草が咲いているのを見つけ、その黄色い小さな花びらに春の訪れを感じ、ほっこりと嬉しく感じました。ふと見上げると裏山の松の木が赤みをおび、天気予報同様に花粉の飛散情報も気になるところです。昨年の時季より遅れてインフルエンザも流行りだしてきました。うがい手洗い、バランスのとれた食事に注意しながら十分な休養を取るように心がけましょう。 T・S記